

令和6年度（2024） 公の施設目標管理型評価書

施設名	新潟市西総合スポーツセンター（有料） ※プール有り		
管理者名	公益財団法人新潟市開発公社	指定期間	令和6年4月1日 ~ 令和11年3月31日
担当課	西区地域課		
所在地	西区五十嵐1の町6368番地48		
根拠法令	スポーツ基本法		
設置条例	新潟市体育施設条例		
施設概要	敷地面積 37,091㎡ 建築構造 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造鉄筋）2階建 主な施設内容（構成施設の内容） 大体育室 1,570㎡ トレーニング室 390㎡ 屋内プール 945.5㎡ 屋内ゲートボール場 1,471㎡ 庭球場 3,789㎡		

施設設置目的

スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として、体育施設を設置する。

管理・運営に関する基本理念、方針等

- (1)新潟市体育施設条例並びに新潟市都市公園条例（以下「条例」という。）に基づき、スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。
- (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、サービスの向上や平等利用が確保すること。
- (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。
- (4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。
- (5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。
- (6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。
- (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。
- (8)指定管理者制度を理解し、実践すること。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	基準利用者数の達成	・個人利用者数 190,000人(但し、新型コロナウイルスによる影響、大会等利用による利用制限等を考慮し評価する)	214,027人	A	評価指標を大幅に上回ったことを評価
	基準利用率の達成	・利用率平均60%以上(利用時間数/利用可能時間数)(但し、新型コロナウイルスによる影響、大会等利用による利用制限等を考慮し評価する) ※体育室・研修室・庭球場・屋内GB場を対象	・利用率平均67%	A	評価指標を大幅に上回ったことを評価
	苦情・要望に対する対応	・苦情・要望には3営業日以内に回答	・適切(3営業日以内)に回答	B	
	サービス満足度	・指定管理に関する利用者アンケートで「満足」が65%以上	・利用者アンケート該当6項目平均77.8%	A	評価指標を大幅に上回ったことを評価
	設置目的に合致したサービス提供	・スポーツ教室延べ参加者数 26,000人以上	・スポーツ教室延べ参加者数29,736人(対前年度比117.2%) ※R5:能登半島地震相談窓口設置のため、2/19~3/31の期間に含まれるスポーツ教室中止。	A	評価指標を大幅に上回ったことを評価
財 務	市の歳入の増加	・年間使用料収入(免除料金除く)50,952千円以上(但し、新型コロナウイルスによる影響や大会や市の主催事業等による使用料免除について考慮し評価する)	59,553,515円	A	評価指標を大幅に上回ったことを評価
	管理運営経費の削減	・管理経費を抑える取り組みの実施 5件以上	・電力会社を入札により選定 ・指定管理者負担による各体育室照明のLED化工事(大体育室・中体育室H31.3竣工)により消費電力低減 ・LED化工事 屋内GB場R4.10竣工、テニスコート(1・2)R4.10竣工、同(3・4)R5.5竣工、アーチェリー場的場8台R6.3竣工、トリムコース外灯16台R7.3竣工により消費電力を低減 ・利用状況に即したこまめな照明点灯を徹底 ・各所節水コマの設置 ・電子決済システム導入による事務効率化・ペーパーレス化 ・経費執行における複数社見積合せ ・シフト効率化、スライド勤務による時間外勤務手当の削減 ・代休取得による時間外勤務手当の削減	A	評価指標を大幅に上回ったことを評価
業 務	地域貢献・地域連携	・地域貢献活動(連携事業) 年4回以上実施	・小学校1校職場見学協力 ・中学校4校職場体験、職場訪問協力 ・中学校1校職業講話協力 ・AED N@VI サポーター登録 ・使用済み切手回収活動 ・盲導犬育成支援事業募金箱設置 ・ロストボール(テニス)回収・寄付活動 ・「海ごみゼロイベント」を実施 ・五十嵐浜海岸清掃への参加 ・フードドライブ実施	A	評価指標を大幅に上回ったことを評価
	改善勧告時の対応の迅速さ・適切さ	・改善内容に応じて軽易なもの即日、時間を要するもの1週間以内に改善対応	・勧告実績なし	B	
	当該施設の管理に係る関係法令の順守	・コンプライアンス研修等 年2回以上実施	・接遇研修 ・コンプライアンス研修	B	
	安全確保体制の確立	・防災訓練 年12回以上実施(消防訓練・救命救急訓練など)	・消防訓練 2回実施 ・水難救助訓練 10回実施 ・普通救命講習Ⅱ 1回実施	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	・AED取扱講習、応急処置講習を全員が受講	・水難救助訓練時等にAED講習を実施 ・有資格者による応急手当講習を実施	B	
	業務基準書等に定める事項の遵守	・その他業務基準書等に定める事項の遵守	・各事項の順守を徹底した	B	
人 材	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	・職員研修を年7回以上実施(オンライン等も含む)	・接遇研修 ・コンプライアンス研修 ・障がい者スポーツ研修 ・健康運動指導士、実践指導者単位講習の実施 ・施設内設備機器操作研修 ・スポーツ教室指導スキルアップ研修 ・普通救命講習Ⅱ受講 他	B	
	労働基準の充足	・労働関係法令の遵守	・法令遵守を徹底した	B	

【評価基準】

- A：要求水準（＝評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
 B：要求水準（＝評価指標）を達成されている。
 C：要求水準（＝評価指標）を達成されていない。

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

令和5年度は能登半島地震被害者相談窓口開設のため、一部施設が利用中止となった期間があったことに加え、令和6年度は全ての施設が通常開館となり、利用者人数は113.4%と大幅に増加。
令和7年度からの使用料改定に向けた周知と利用者への説明対応に務め、大きな混乱や苦情等もなく円滑な移行につなげることができた。また、旧年度料金での定期券更新手続きにより、使用料は大幅増となった。
スポーツ教室ではSNS広告等で周知を図り、前年比117%増を実現。
トリムコース外灯照明の敷設替えLED化により消費電力及び使用料低減につなげた。
施設管理では、毎時の施設巡視と定期点検等をきめ細やかに行い、老朽化が進む施設や備品等に不具合が生じた際は迅速に対応することで事故等を未然に防ぎ、施設瑕疵による事故発生「0件」を実現。
新たな指定管理期間の初年度となった今年度は、お客様が安全安心に継続してご利用いただける施設管理運営に努めた。次年度は料金改定もあり、使用料増に対する適切な説明に加え、円未満の端数処理や、円単位での使用料が発生するため、過誤徴収なく対応できるよう取り組んでいく。

所管課による総合評価(所見)

複数の評価指標において目標を大きく上回る成果を挙げており、総じて高く評価できる。特に、利用者数や教室参加者数の増加、使用料改定に伴う丁寧な利用者対応など、運営全般にわたる取り組みが着実に実を結んでいる。
また、光熱費等の高騰が続く中で、LED化工事の実施や点灯・消灯管理の徹底などにより、電気料の削減に向けた具体的な成果を上げた点は、コスト意識の高い運営として特に評価できる。
今後も、利用者が安心して施設を利用できるよう、安全管理の徹底と適切な維持運営に努めていただくとともに、地域のスポーツ振興に引き続き寄与されることを期待する。